



令和7年度 避難所見学ツアー in 神大寺小学校

私たち一人ひとりが震災時に困らないように防災拠点避難所を知ろう



プロローグ ~横浜地震防災市民憲章~

もくじ 神大寺小学校地域防災拠点避難所ツアープログラム

- 1 • 神大寺小学校避難所マップ
- 2 • 避難者カード（兼安否確認票）記入について
- 3 • 防災倉庫の見学
- 4 • 小学校敷地内の防災設備見学
- 5 • ペット避難所見学
- 6 • 避難所（体育館）の見学
- 7 • 講話
- 8 • 体験コーナー

令和7年11月16日 開催

(神大寺小学校地域防災拠点運営委員会)



よこはま地震防災市民憲章

～ 私たちの命は私たちで守る ～

ここ横浜は、かつて関東大震災に見舞われ、多くの方が犠牲になりました。大地震は必ずやってきます。その時、行政からの支援はすぐには届きません。私たち横浜市民はそれぞれが持つ市民力を発揮し、一人ひとりの備えと地域の絆で大地震を乗り越えるため、ここに憲章を定めます。

穏やかな日常。それを一瞬にして破壊する大地震。大地震はいつも突然やって来る。今日かもしれないし、明日かもしれない。
だから、私は自分に問いかける。地震への備えは十分だろうかと。

大地震で生死を分けるのは、運・不運だけではない。また、自分で自分を守れない人がいることも忘れてはならない。私は、私自身と周りの大切な人たちの命を守りたい。
だから、私は考える。今、地震が起きたら、どう行動しようかと。

不安の中の避難生活。けれどみんなが少しずつ我慢し、みんなが力を合わせれば必ず乗り越えられる。

だから、私は自分に言い聞かせる。周りのためにできることが私にも必ずあると。

東日本大震災から、私たちは多くのことを学んだ。頼みの行政も被災する。大地震から命を守り、困難を乗り越えるのは私たち自身。多くの犠牲者のためにも、このことを風化させてはならない。

だから、私は次世代に伝える。自助・共助の大切さを。

平成 25 年 3 月 11 日制定

よこはま地震防災市民憲章〔行動指針〕

(備え)

- 1 自宅の耐震化と、家具の転倒防止をしておきます。
- 2 地域を知り、地域の中の隠れた危険を把握しておきます。
- 3 少なくとも3日分の飲料水、食料、トイレパックを備蓄し、消火器を設置しておきます。
- 4 家族や大切な人との連絡方法をあらかじめ決めておきます。
- 5 いっつき避難場所、地域防災拠点や広域避難場所、津波からの避難場所を確認しておきます。
- 6 家族ぐるみ、会社ぐるみ、地域ぐるみで防災訓練に参加します。

(発災直後)

- 1 強い揺れを感じたら、命を守るためにその場に合った身の安全を図ります。
- 2 怖いのは火事、揺れが収まつたら速やかに火の始末を行います。
- 3 近所のお年寄りや障害者の安否を確認し、余震に気をつけながら安全な場所へ移動します。
- 4 避難する時は、ガスの元栓と電気のブレーカーを落とし、備蓄食料と常用薬を持って行きます。
- 5 断片的な情報しかない中でも、噂やデマに惑わされないように常に冷静を保ちます。
- 6 強い揺れや長い揺れを感じたら、最悪の津波を想定し、ためらわず大声で周囲に知らせながら高いところへ避難します。

(避難生活)

- 1 地域防災拠点ではみんなが被災者。自分にできることを見つけて拠点運営に協力します。
- 2 合言葉は「お互いさま」。拠点に集まる一人ひとりの人権に配慮した拠点運営を行います。
- 3 避難者の半数は女性。積極的に拠点運営に参画し、女性の視点を生かします。
- 4 子どもたちの力も借りて、一緒に拠点運営を行います。
- 5 消防団員も拠点運営委員も同じ被災者。まずは感謝の言葉を伝えます。
- 6 「助けて」と言える勇気と、「助けて」に耳を傾けるやさしさを持ちます。

(自助・共助の推進)

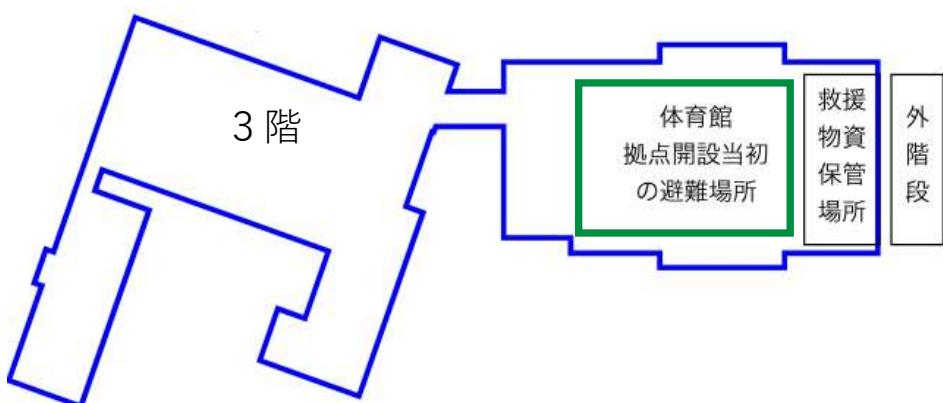
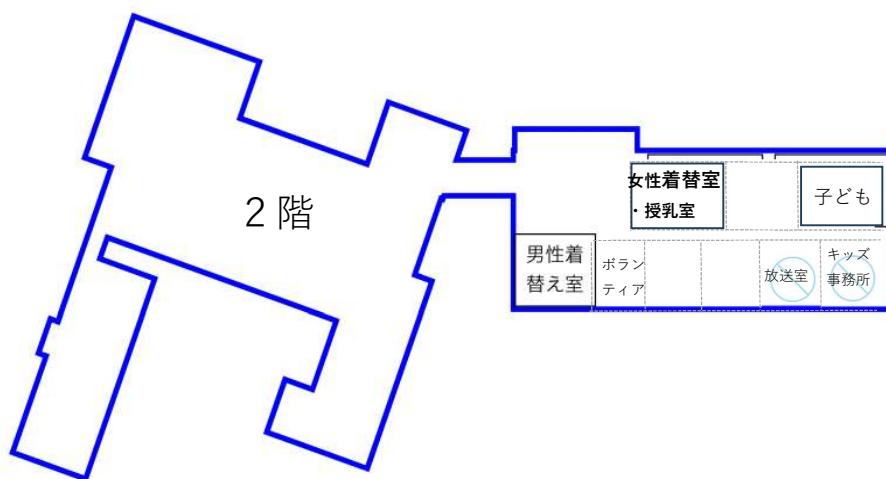
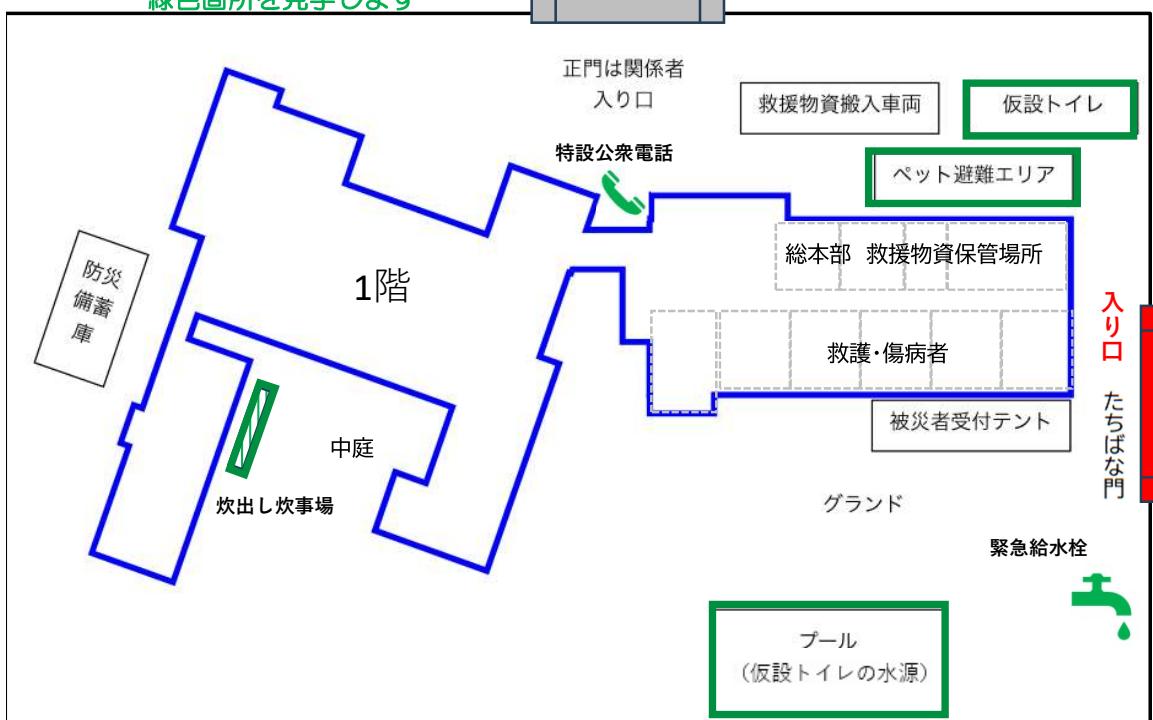
- 1 あいさつを手始めに、いざという時に隣近所で助け合える関係をつくります。
- 2 地域で、隣近所で、家庭で防災・減災を学び合います。
- 3 子どもたちに、大地震から身を守るための知恵と技術、そして助け合うことの大切さを教えます。
- 4 横浜はオープンな街、訪れている人みんなに分け隔てなく手を差し伸べます。
- 5 私たち横浜市民は、遠方の災害で被災した皆さんにもできる限りの支援をします。

神大寺小学校避難時マップ

※配置図は変更の可能性があります

①

緑色箇所を見学します



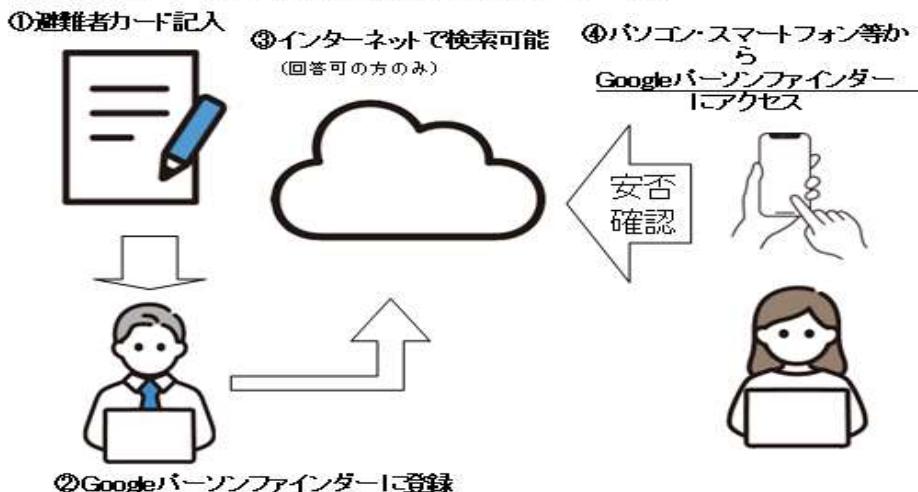
『避難者カード（兼 安否確認票）』記入について ②

- ・1人1枚ではなく、各世帯で1枚記入して頂きます
- ・家族全員の情報をご記入下さい
- ・人数の把握により各地域への救援物資数量決定にも関わります

避難者カード（兼 安否確認票）をご記入いただく目的

- この地域防災拠点、あるいは地域防災拠点以外の場所（自宅など）にどなたがいらっしゃるかを把握します。
- 避難者とそのご家族の安否情報を把握します。
- ご記入いただいた内容を横浜市危機管理システムに登録することで、避難者情報を災害対策本部と共有します。
- インターネットで避難者とそのご家族の安否情報を検索できるようになります（安否情報の公表に承諾された方のみ）。（「Google/パーソンファインダー」で検索）

【避難者カード（兼 安否確認票）運用のイメージ】



↑ 地域防災拠点で収集し、役所の方が登録します
横浜市危機管理システムに登録するためには
避難者カードを防災拠点にご持参ください

【避難者カード.pdf】

【Google/パーソンファインダー】
安否情報をご自身で登録することもできます



自宅で記入して非常持ち出し袋に入れておくとよいでしょう

避難者カード(兼 安否確認票) No.

学校地域防災拠点

※ みなさまの安否情報の問い合わせについて、ご希望の番号にチェックをつけてください。

問い合わせに…

- 1 下記の情報を公表しないでください。
 2 下記の情報を公表しても結構です。(インターネットでも検索できます。)
 3 一部の項目だけ回答しても結構です。

(回答してもよい項目にチェックをつけてください。インターネット検索時、チェックした項目のみ表示されます。)
 < 住所(区町名まで) 性別 年齢 身体の状況 所在場所 >

※1世帯で1枚記入(下線の引かれた項目は、必ず記入してください。)

確認者

避難した日時	年 月 日 :	
退去した日時	年 月 日 :	
避難生活区画	<input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 教室(階 年 組用) <input type="checkbox"/> _____	
住 所	〒 一 区 町 丁目 番 号 *アパート・マンション名	

同居家族全員を記入してください。

フリガナ	性別	年齢	身体の状況	所在場所	備考 <small>※原則非公開ですが、インターネット検索時に「表示する」にチェックしてください。</small>	電話(携帯)番号 <small>(インターネット検索用)</small>
氏名(NAME)	男 ・ 女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害があります <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する	- -
災害活動に関する特技・資格など						
	男 ・ 女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害があります <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する	- -
	男 ・ 女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害があります <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する	- -
	男 ・ 女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害があります <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する	- -
	男 ・ 女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害があります <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する	- -

※電話番号及び携帯番号は検索用にのみ利用し公表はしません。

※本情報は、災害時の利用とし、災害対策本部の廃止後に消去します。

防災備蓄庫 ③

避難所で生活するための保存食や水のほか、
生理用品や赤ちゃんの粉ミルクもありますが
数に限りがあるので出来るだけ持参しましょう。
簡易トイレや発電機などもあります。

詳細はこちら
横浜市HP
地域防災拠点 備蓄品一覧



※HP掲載の備蓄品全てが倉庫に保管されている訳ではありません



コンビニ側にある倉庫が防災備蓄庫です。ご存じでしたか？
水、食料、通信機器、非常トイレなど避難所で必要なもの
だけではなく、スコップ、ロープ、ツルハシ、担架など近隣の救助や
がれき撤去などに必要になるものも保管されています。
各自治体と連携して自宅避難者用に物資を回す分も含まれています。
なのでここでの避難者用の物資は数に限りがあるので当然にせず、
自宅から持ち出せる場合はなるべく必要なものを持参してください。



敷地内の防災設備

④

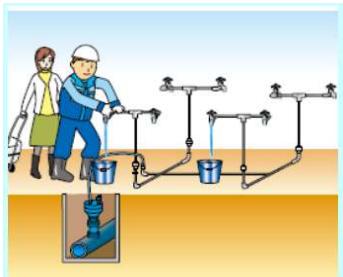
～どこにあるのか見てみましょう～

◆公衆電話（設置予定場所）



正門近くに『特設公衆電話』を設置する予定です。
特設公衆電話とは、災害時にNTTが被災地の拠点に
臨時に設置する公衆電話で、無料で使用できます。
家族等の安否確認を目的としています。あくまでも
発信のみを想定しており、受信することはできません。

◆給水所



緊急給水栓

地震に強い水道管（耐震管）に仮設の
蛇口を取り付けて給水する施設です。
発災後おおむね4日目以降に、水道局
職員が断水状況を踏まえて順次仮設
の蛇口を設置していきます。

横浜市HP
給水所マップ



給水栓のマンホールが、校庭のメルカート側にあります。
神大寺小学校は「緊急給水栓」なので4日目以降に水道局員が
蛇口を設置しに来ることになっています。
在宅避難者もこの給水所を利用できるようになりますが、
初期の3日分は自宅で水を確保しておきましょう。

1日1人※3リットル×3日分
(飲み水1L・生活用水2L)



◆炊き出し炊事場

中庭にキャンプ場のような炊事場がありますが、
ガスの炊事場が足りない場合などの最終手段として
煙が少ない炭を使って炊事をすることを想定しています。
余談ですが、校庭にキャンプテントを張って避難する
ことはNGです、炊事場もその目的では使えません。
校庭は資材置き場や仮設風呂設置などで利用されます。また指定緊急避難場所
でもあるので余震時に避難者が来ても良いようにスペースが必要です。



◆仮設トイレ（はまっこトイレ/下水直結式仮設トイレ）



交差点寄りの堀内に小さいマンホールが並んでいます。蓋を外してその上に仮設トイレを設置します。プールから水を引いて半分程度水を貯めて約500回分使用したら水を流すので一日に1回・2回程度流して使います。下水道管へ流せるので衛生的ですね。



はまっこトイレイメージ図



◆プールの水活用

ポンプで水を汲んでホースで繋ぎ、はまっこトイレまで水を流します。
倉庫に保管してある発電機でポンプを起動させます。
以前このプールからトイレまで長いホースを繋いで水を流す訓練もしました。
プールの水は消防でも利用される可能性がありますので地域の貯水槽の役割があります。

ペット避難所 ⑤

『飼い主の会』を組織して、餌やりや散歩や掃除をします。

室内では飼育できません。

～横浜市HP 「災害時のペット対策（震災）」 より～

◆ペット同行避難とは、被災時に地域防災拠点などの避難所へ
ペットとともに避難することを言います。

避難行動を示す言葉であり、避難所内で飼い主がペットを同室で飼育管理
することではありません。

ペット同行避難は、動物愛護の観点のみならず、放浪動物による人への
危害防止や生活環境保全の観点からも必要な措置です。

◆震災時における地域防災拠点にペット同行避難する場合の注意点

地域防災拠点では、多くの被災者が共同で避難生活を送る場であり、
動物を苦手とする人や、動物アレルギーなどの理由で動物と一緒に
いられない人もいます。

このような避難者がいることを考慮し、一時飼育場所の設置場所の検討など、
地域防災拠点の実状に応じたペット対策を日頃から考えておきましょう。

図工室前テラスは屋根もあるのでペット避難所として想定しています。

ペットのいない方も鳴き声や臭いなども気になるところですが、

状況をご理解の上こちらも譲り合って過ごして頂けるとありがとうございます。

飼い主の会



熊本地震の発生後、飼い主と同行避難し避難所の外で飼われているペット = 2016年5月、熊本県益城町（ボランティア団体「災害時ペット捜索・救助チームラーーやん」提供）

(出典：佐賀新聞)

(ペット同行避難の動画)

◆災害 あなたとペットは大丈夫?
【避難生活】編（環境省）



◆横浜市地域防災拠点におけるペット災害対策
(ノーカット版) 約20分



(ダイジェスト版)
約4分



避難所（体育館）⑥

片倉町駅近くの神大寺小学校には、住民以外にも帰宅困難者など多くの人が避難しに来ることが予想されます。

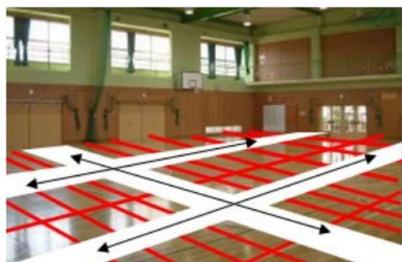
体育館以外の教室も使い、およそ300人程度の収容が可能の想定ですが混雑します。

体育館の一人あたりのスペースとして望ましいのは2.1畳とされていますが過去事例からも実際は1畳（布団1枚分）のスペースしか確保できない事が多い様です。



能登半島地震の被災者が避難生活を送っている
指定避難所の珠洲市立三崎中学校＝石川県珠洲
市で2024年1月9日（危機管理教育研究所提
供）
(出典：毎日新聞)

区画割りの線引きイメージ



段ボールパーテーション例



早い者勝ち場所取りはNGです！

協力して区割りの線引きをします。

横浜市はプライバシーゾーンを段ボール
パーテーションで設置することにしていますが、
嵩張るので備蓄倉庫にはそれほど数量が保管
されていません。

数日後に救援物資としてパーテーションが届く
までは能登半島地震の避難所の写真のような状況
が予想されます。協力して過ごしましょう。



これで避難所見学ツアーは終了です。

避難時に自分はどうすればよいのかな?と関心を持っていただけたでしょうか。

防災拠点運営委員会でも皆が安全で少しでも快適に過ごせるにはどうすればよいか話し合っていますが、皆さんのアイディアも取り入れたいので自治会の防災担当者や拠点運営委員にご意見ください。

次回の避難訓練もご近所お誘い合わせの上ぜひご参加ください。



講話

⑦

横浜市長談話、校長先生、防災拠点運営委員長、ペット飼い主の会担当のお話

体験コーナー

⑧

◆ワンタッチテントの組み立て・収納



◆簡易トイレ実験

凝固剤を試してみよう

どのくらいの水を吸収するか試してみよう



横浜市トイレパックの使い方

◆備えよう! どうする? 災害時のトイレ



神大寺小学校地域防災拠点

神大寺小学校 所在地

〒221-0801

横浜市神奈川区神大寺3-34-1

地域防災拠点一覧

No.	拠点名	所在地・連絡先	対象区域
19	南神大寺小学校	神大寺二丁目9-16 電話481-3066	・神大寺一丁目2の一部、3~6、7の一部、8の一部9の一部、11~40 ・神大寺二丁目1~9、11、12の一部、22、23の一部、32の一部、33、38~40
20	神大寺小学校	神大寺三丁目34-1 電話491-9478	・神大寺一丁目41~42 ・神大寺二丁目10、12の一部、13~21、23の一部、24~31、32の一部、34~37、41 ・神大寺三丁目26~35 ・神大寺四丁目1、8~9、15~27 ・片倉一丁目19~33 ・片倉二丁目1~2、3の一部、5~12、16 ・片倉三丁目 ・片倉四丁目 ・片倉五丁目1~15 ・三枚町1~202 ・菅田町2975~2977
21	六角橋中学校	六角橋五丁目33-1 電話481-3521	・六角橋五丁目21の一部、22~30、32~36 ・六角橋六丁目24 ・神大寺四丁目2~7、10~14、28~34 ・片倉五丁目16~59
22	中丸小学校	神大寺三丁目17-1 電話491-8033	・神大寺三丁目1~25 ・片倉一丁目1~18 ・片倉二丁目3の一部、14、17~

(※ご質問等のお問い合わせは小学校に電話せず各地区の防災拠点運営委員まで)

防災情報お役立ちサイト

◆よこはま防災eパーク

横浜市の防災情報が分かり易くまとめてあります

クイズで防災知識が身に付くコーナーや防災講習終了証がもらえるコーナーなど
子供から大人まで幅広く防災知識を楽しみながら学習できるサイトです



◆横浜市防災情報ポータル

横浜市からの現在の災害情報発信です



◆防災美ちゃんと学ぼう～

磯子の中学生にできること（全編）

子供たちも非常時に活躍します！

（神奈川区では対応していない内容もあります）



YouTube動画



本日はご参加頂きありがとうございました